

あなたの優しさ 忘れたくない



食べ物や水の配達。
年下の子と一緒に勉強。

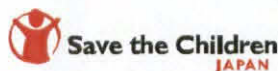
覚えていますか？
私たちの活躍

震災後の避難所などで
中高生が「誰かのためにした」
大人が「中高生たちの働きを見た」
エピソードを送ってください。
皆さんの声をまとめ、
冊子にして全国に伝えます

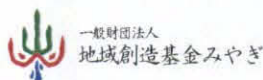
2011年3月11日以降、多くの方が避難所で過ごした期間、各所で子どもが果たした役割は大きいと言われています。中高生が、避難所で年下の子どもと遊んだり、水や物資配布を手伝ったりする場面や、被害の少なかった地域では、物資支援やボランティア活動等への取り組みが多くあったと言われてい

ます。そこで、その活躍が忘れられてしまう前に、中高生自身の経験を投稿頂く、あるいは中高生たちの働きを見た・ふれた大人の話を集めています。投稿頂いたエピソードは、まとめて冊子にして投稿者や関係者に送付すると共に、インターネット等で広く伝えます。

震災後に
中高生が果たした
役割の記録
プロジェクト



×



募集期間 第一期：2012年10月11日(木)～2012年11月30日(金)

第二期：2012年12月1日(土)～2013年1月7日(月)

対象地域 青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県の東北6県

対象

- a) 東北6県に暮らす中学・高校生
 - b) 中高生に助けられた方、働きを実際に見かけた方
 - c) 東北6県以外に居住するが、その期間に東北域内で活動をしていた中学・高校生
- ※小学生や当時高校生だった現大学生も可

対象期間 2011年3月11日～2011年12月末頃までの活動

投稿方法

- ①郵送で 投稿用紙に記入してポストに投函
- ②FAXで 022-748-7284
- ③メールで project@sanaburifund.org
- ④WEBで 「さなぶりファンド」で検索
- ⑤ケータイで 右のQRコードを読み取り投稿



中高生用



大人用

震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト

主催：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 実施：一般財団法人 地域創造基金みやぎ

後援：文部科学省、復興庁（申請中）、青森県教育委員会、秋田県教育委員会、岩手県教育委員会、宮城県教育委員会、山形県教育委員会、福島県教育委員会、仙台市教育委員会、財団法人 児童健全育成推進財団、

特定非営利活動法人いわて連携復興センター、みやぎ連携復興センター、一般社団法人 ふくしま連携復興センター

問い合わせ：一般財団法人 地域創造基金みやぎ

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-2-23桜大町ビル303 TEL：022-748-7283 FAX：022-748-7284 E-mail：project@sanaburifund.org